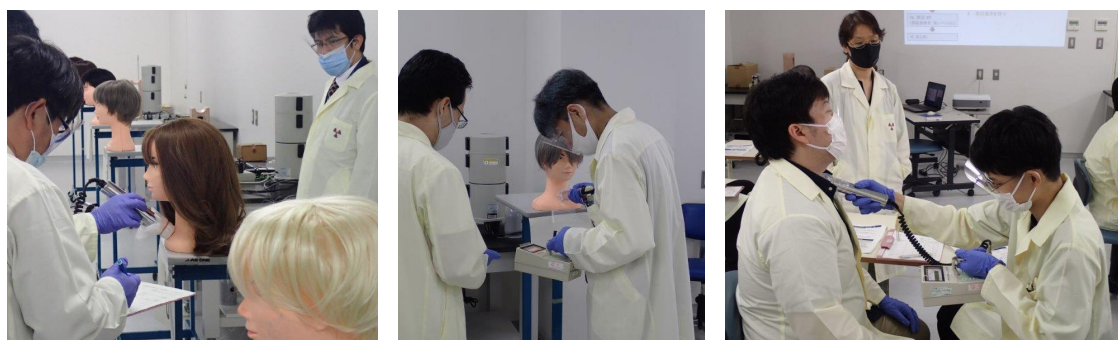


国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
令和 7 年度原子力災害対策事業費補助金（原子力災害医療実効性確保事業）

甲状腺簡易測定研修（QST）募集要項

本研修は令和 7 年度 原子力災害対策事業費補助金（原子力災害医療実効性確保事業）の一環として、量子科学技術研究開発機構（QST）が年 3 回開催する専門研修です。

本研修は、甲状腺簡易測定を行う担当者の養成を目的としており、原子力災害時に放射性ヨウ素が環境中に放出された場合に備え、周辺住民等の甲状腺簡易測定を迅速に実施できる体制整備の一環として開催するものです。甲状腺簡易測定実習を主として、甲状腺簡易測定を行う上で必要な線量評価関連事項に関する講義を併せて行います。



本研修は「基礎」から「専門」へステップアップする原子力災害医療に関する研修の一つとなります。

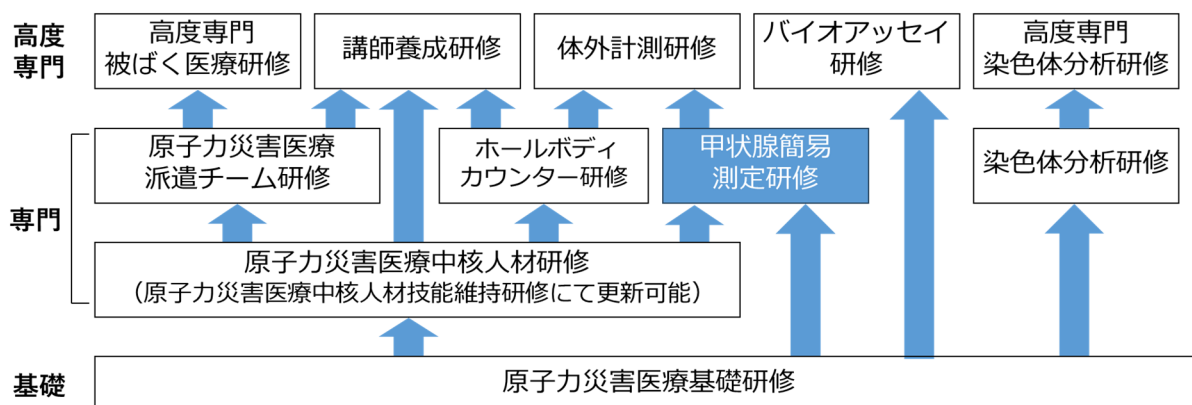


図 ステップアップする研修体系

甲状腺簡易測定研修は、全国に 6 か所ある高度被ばく医療支援センター（QST のほか、弘前大学、福島県立医科大学、福井大学、広島大学、長崎大学）で開催します。どちらで開催する研修も内容は同様となりますので、ご都合によって受講する研修をご検討いただければ幸いです。研修の詳細につきましては、各支援センターから送付される案内や被ばく医療研修ポータルサイトをご参照ください。

1. 募集人数および日時

募集人数 10 名／回

日時 第 1 回 令和 7 年 8 月 22 日（金） 9：00～16：10（8：50 より生活案内）
第 2 回 令和 7 年 10 月 9 日（木） 9：00～16：10（8：50 より生活案内）
第 3 回 令和 8 年 1 月 15 日（木） 9：00～16：10（8：50 より生活案内）

2. 対象者

以下の①、②の両方を満たす方

- ① 原子力災害拠点病院、原子力災害医療協力機関等で、原子力災害時に周辺住民等の甲状腺内部被ばくの簡易測定を担当される方、またはその可能性がある方

※補足 1：地方公共団体の職員であって甲状腺の被ばく線量モニタリングを担当する者を含む

※補足 2：原子力災害医療協力機関においては、B 要件の機能を登録している機関または今後 B 要件の登録を行う予定の機関

（B 要件：国または立地道府県等からの指示に基づき、避難住民等に対し甲状腺被ばく線量モニタリングを実施することができる測定要員を保有し、その派遣体制を有すること）

- ② 原子力災害医療基礎研修、原子力災害医療中核人材研修、原子力災害医療中核人材技能維持研修、甲状腺簡易測定研修のいずれかを修了し、有効期限内の修了証を有する方

3. 実施場所

量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所 研修棟

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川 4-9-1

（QST ホームページ [交通のご案内](#)  をご確認ください。）

4. 研修科目

別記 プログラム参照

研修講義にかかる原子力災害医療研修のテキストについては、以下の URL からダウンロードできます。

<https://www.qst.go.jp/site/nirs/nuclear-emergency-medicine-text.html>

5. 受講料

無料

6. 交通費・宿泊費

当機構規程によりお支払いいたします。

7. 申込要領

申込期間 第1回 令和7年5月12日（月）～ 令和7年7月16日（水）
 第2回 令和7年5月12日（月）～ 令和7年9月3日（水）
 第3回 令和7年5月12日（月）～ 令和7年12月1日（月）
お申し込み多数の場合は早めに締め切らせていただくことがあります。

申込方法

ポータルサイトよりお申し込みください（「[入力操作の手引き](#)」参照）。

被ばく医療研修ポータルサイト <https://retms.nirs.qst.go.jp/>



8. 受講決定通知

- 研修開始日の2週間前までに所属長及び本人宛の結果を文書で通知します。応募者多数の場合には受講者数を調整させていただくことがあります（受講決定は先着順ではありません）。なお、研修開始日の2週間前を経過しても受講決定通知が届かない場合は、下記問い合わせ先までご連絡下さい。
- 受講決定者には経費支払いに関する情報及び書類、研修日程等受講に必要な諸事項を送付します。
- 受講決定後でも社会通念上相当とする理由がある場合は、研修の取りやめ、受講決定取り消し、受講辞退受付の場合があります。

9. 連絡先

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川 4-9-1

量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所 原子力防災推進部 人材育成・研修課

電話（直通）：043-379-7808

E-mail：hibaku-training@qst.go.jp

個人情報の取り扱いについて

申込に際してご記入いただきました氏名、住所等の個人情報は、当機構の個人情報保護規程に基づき厳重に取り扱い、本研修の受講記録として管理・保管すること及び、下記の利用目的以外では一切使用いたしません。

- ① 原子力施設立地・隣接道府県、原子力規制庁、高度被ばく医療支援センター及び原子力災害医療・総合支援センターからの受講記録照会のため
- ② 受講者への連絡のため
- ③ 講師への情報提供のため
- ④ 研修終了後のフォローアップのため
- ⑤ その他研修業務の遂行のため

※被ばく医療研修ポータルサイトのサイトポリシーもご参照ください。

令和 7 年度 甲状腺簡易測定研修 プログラム

時 間		場 所	講義タイトル
9:00 - 9:10	0:10	講義室 2	開講式
9:10 - 10:00	0:50	講義室 2	1. 原子力災害対応
10:00 - 10:10	0:10	休憩	
10:10 - 11:00	0:50	講義室 2	2. 甲状腺簡易検査
11:00 - 11:45	0:45	講義室 2	話題提供
11:45 - 12:45	1:00	昼食	
12:45 - 13:00	0:15	講義室 2	実習ガイダンス
13:00 - 15:20	2:20	実習室 1	実習 甲状腺簡易測定
15:20 - 15:30	0:10	休憩(移動)	
15:30 - 16:00	0:30	講義室 2	総合討論、質疑応答
16:00 - 16:10	0:10	講義室 2	閉講式